

第二章 八月十八日ヨリ八月下旬ニ至ル上海作戰

第一節 上海陸上戰鬪ヲ中心トスル作戰

第一項 江上及沿岸作戰

支那海軍ノ
敵對行爲ト
我方擊滅方
策

戰局中支方面ニ擴大セルニ拘ラズ、當初支那海軍ハ我ニ對シ積極的行動ニ出デザリシガ、軍政部直屬ナル雷電學校ニ屬スル高速艇ノ出雲ニ對スル魚雷襲撃及江陰附近航路閉塞等アリ、又黃浦江上流日清汽船碼頭繫留中ノ日清汽船株式會社船洛陽瑞陽、長陽、南陽、襄陽、嵩山ノ六隻ヲ押收シ、八月十七日ヨリ之ヲ海軍浮標上流ニ沈メテ航路ヲ閉塞スルノ作業ニ著手セル事實八月二十四日ニ鑑ミ、支那海軍ハ我ニ對シ敵對行爲ヲ執ルベキコト最早明瞭ナルモノト認メ、海軍中央部ハ第三艦隊ニ對シ左ノ如ク指示セリ。

八月十八日午後十一時十分發電

軍令部機密第六一一番電

支那海軍ハ魚雷發射等敵意歴然タルモノアリ、速ニ上海方面敵海軍ヲ擊滅スル

第二章 八月十八日ヨリ八月下旬ニ至ル上海作戰

七三五

様考慮アリ度。

八月二十日午後三時五分發電

軍令部機密第六一六番電

南京捷路軍港ニ在ル敵艦隊ハ奥地遁走ニ先チ、又江陰雷電學校等ハ機宜之ヲ撃破セラレ度。但シ實施ニ當リ外國艦船ニ注意セシメラレ度。

右ニ依リ第三艦隊司令長官ハ在上海唯一ノ支那軍艦永健當時修理中ナリキ竝ニ魚雷艇及江南造船所ニ對シテハ之ガ撃滅ノ方策ヲ進メ、又江陰及南京方面ノ支那第一、第二練習艦隊ニ對シテハ陸軍揚陸以前ハ我ヨリ攻撃ヲ加ヘズ、上陸作戰進捗後空襲ニ依リ一擧ニ之ヲ撃滅センコトヲ企圖セリ。

敵艦ヲ撃沈ス

次デ八月二十五日上海市方面ニ於テ爆撃ニ依リ敵巡洋艦一隻艦名不詳約二千噸ヲ撃沈セリ。

噸五百ヲ撃沈セリ。

白鷹及第十一掃海隊馬鞍群島其ノ他ヲ占領ス

第三艦隊司令長官ハ中支作戰上、緊要ナル揚子江口附近作戰基地ノ設營ニ關シテハ八月十五日南支部隊指揮官ニ對シ著手ヲ發令セシガ、白鷹及第十一掃海隊ハ八月十

六日馬鞍群島及大戦山島其ノ他附近ノ敵通信見張施設ヲ占領シ、同十八日ヨリ二十四日ニ互リ泗礁山島ヲ中心トスル根據地施設トシテ防禦補給修理航空基地等ノ設
營ヲ實施セリ。以下參照
然ルニ爾後少數ノ敵飛行機ハ馬鞍群島根據地ニ對シ屢來襲セルモ、右ニ因ル被害ハ
ナカリキ。

第二項 陸戦部隊ノ作戦

第一目 東部地區ノ戦闘 自八月十八日 日七四八頁ノ一附 至八月二十二日 日圖第二十三參照

八月十七日以後各戦線稍落著ク

上海ニ於テハ第三艦隊司令官ハ現守備區域ヲ確守シ、且航空兵力ヲ活用シ敵勢ヲ撃破シツツ、一方海陸協同作戦ニ對スル諸準備ヲ進メタルガ、上海方面ノ戦闘ハ陸戦航空戦共ニ八月十六十七兩日ヲ峠トシ稍落著ク見タリ。

八月十七日以來北部地區ノ敵ハ漸次東方ニ移動シ、我が配備薄弱ナル沙涇港地區ノ北部ヲ突破セントセルモノノ如ク其ノ行動活潑ト爲リシガ、我ハ之ニ對シ北部地區ト沙涇港地區トノ中間地域ノ陣地ヲ強化シ、敵ノ企圖ヲ完封セリ。

横一特及吳一特ノ上海進出ト東部支隊ノ編成

横須賀鎮守府第一特別陸戦隊 指揮官海軍少佐竹下宜豊 及吳鎮守府第一特別陸戦隊 指揮官海軍中佐安田義達 ハ八月

十八日午前上海ニ到著シ、前者ハ午前十一時三十分大阪商船碼頭ヨリ上陸ヲ開始シ、午後一時三十分公大第二社宅ニ集結ヲ了シ、後者ハ午後一時威賽公碼頭 日本郵船碼頭ノ附近 ヨ

リ上陸ヲ開始シ、午後三時四十分碼頭發配備ニ就キ、主力ヲ東部小學校ニ集結セリ。

而シテ從來柴北第五大隊長指揮下ノ部隊ト右兩特別陸戦隊トヲ併セ、安田中佐ヲ指揮官トスル東部支隊ヲ編成シ、之ガ爲東部地區陣地ハ著シク強化ヲ見ルニ至リ、同日

ハ爾後間歇的ニ敵襲アリタルモ我ハ其ノ都度之ニ多大ノ損害ヲ與ヘテ撃退セリ。

18/8

FF 9700

16/8 27+
op 1-カ
1007-27
9-27

戰闘地域
設定

19/8 27/11

19/8 27

19/8 27

月岡・土師
兩部隊ノ上
海進出ト戦
線ノ整理

why?

大川内上海海軍特別陸戰隊司令官ハ十八日陸戰隊命令ヲ以テ東部戰闘地域ヲ東方ヨリ、右地區(許家宅大康社宅(含マズ)東端騰越路(含ム)ヲ連ヌル線以東第五大隊ノ擔任)中央地區楊樹浦クリーク(含マズ)以東、吳鎮守府第一特別陸戰隊ノ擔任、左地區楊樹浦「クリーク」以西、虹口「クリーク」(含マズ)以東、橫須賀鎮守府第一特別陸戰隊ノ擔任ト定メ、十九日正午以後右配備トセリ。但シ同日東部支隊命令ヲ以テ橫須賀鎮守府第一特別陸戰隊ハ何分ノ令アル迄華德路(含マズ)以北ニ進出セザルコトトシ、尙同隊ハ日本郵船會社碼頭以西ノ擔任地域ニ對シテハ時々巡邏ヲ派シ、情況特ニ之ヲ要スレバ、一部兵力ヲ以テ最重要地點ニ陣地ヲ占領シテ警戒ニ任ズルコトト定メタリ。

同日午後十時上海海軍特別陸戰隊增加部隊ヲ以テ編成セル、海軍少佐月岡寅重ノ率キル大隊ハ商招局碼頭ヨリ、同ジク海軍少佐土師喜太郎ノ率キル大隊ハ大連碼頭ヨリ上陸セルガ、前者ハ直ニ東部支隊ニ編入セラレ、後者ハ總豫備隊トシテ陸戰隊本部ニ配置セラレタリ。
斯クテ東部支隊增強セラルルニ及ビ、八月二十日東部支隊長ハ月岡大隊及橫須賀鎮守府第一特別陸戰隊ノ戰闘地域境界線ヲ海軍用地上海倉庫會社倉庫ヲ通ズル線ト定メ、又月岡大隊ノ擔任區域ヲ右境界線以西、虹口「クリーク」ニ互ル地域トシ、塘山路上

第二章 八月十八日ヨリ八月下旬ヲ至ル上海作戰

七三九

29/8(0900)

上海海軍特別陸戰隊、軍隊區分、大隊稱號ノ改定

第八篇 緒戦期ニ於ケル中・南支作戦

七四〇

三陣地ヲ占領シ、之ヲ確保スベキヲ下令セリ。
 上海海軍特別陸戰隊司令官ハ二十日午前九時機密上陸軍命令第二〇號陸戰隊命令ヲ以テ軍隊區分、大隊稱號ノ改定及前線諸隊ノ整理等ヲ實施セリ。
 軍隊區分及大隊稱號ノ改定別表第一第二ノ如シ。

別表第一

軍隊區分

支 部 北		部 隊
中央隊	右翼隊	
附部令司陸特海上		指 揮 官
田	古	
第八戰隊陸戰隊 指揮官 岡野少佐	第一大隊長 橋本少佐	兵 力
第八戰隊陸戰隊、機銃車一、乘用車一、貨物車二	第一大隊、速射砲第一・第二分隊(二門)、八九式中戰車、加式輕戰車二、裝甲車二、機銃車二、電話隊一箇分隊、工作隊一箇分隊、醫務隊第一小隊、第一水雷戰隊第一中隊、第三水雷戰隊第二中隊、乘用車二、貨物車三、「サイドカー」二	記 事
一 上記車輛ハ隊固有車輛以外ノ配屬車輛標準ヲ示シ且支隊用車輛ヲモ便宜翼隊配屬車輛ノ如ク記載シアリ 尙所要ニ應ジ右車輛等ハ司令部ニ招致シ配屬ヲ變更セシム 二 戰車隊ノ配屬右ニ同		

1940.11.12
C.P.M.12

虹口地區隊	中部第二地區隊	中部第一地區隊	八字橋地區隊	隊	
				本部	左翼隊
出雲陸戰隊指揮官 溝口少佐	第二大隊長 佐野大尉	第六大隊長(吳鎮第二特陸司令兼大隊長) 馬場少佐	第三大隊長 伊藤大尉	中 第一水雷戰隊 陸戰隊指揮官 越野少佐	佐
出雲陸戰隊、第一水雷戰隊陸戰隊(第三編制トシテ増加ノ三箇小隊)、機銃車二、 乗用車二、貨物車五	第二大隊、第十中隊(第二小隊缺)(十五迫四門)、速射砲小隊(第一・二分隊缺) (二門)、歩兵砲第一・二分隊(二門)、裝甲車二、機銃車三、電話隊一箇分隊、通信隊派遣班、工作隊一箇分隊、醫務隊第三小隊、 乗用車三、貨物車八、「サイドカー」二	第六大隊(吳鎮第二特陸)、乗用車一、貨物車五	第三大隊、第十中隊第二小隊(十五迫四門)、歩兵砲小隊(第一・二分隊缺)(二門)、八九式中戰車一、裝甲車三、機銃車二、乗用車三、貨物車八、「サイドカー」一	第一水雷戰隊陸戰隊(二箇中隊及三箇小隊缺)、機銃車一、乗用車二、貨物車六、「サイドカー」一	第三水雷戰隊ノ一箇中隊、第一水雷戰隊ノ一箇小隊、其ノ他支隊長ノ定ムル兵力

第二章 八月十八日ヨリ八月下旬ニ至ル上海作戰

三 各隊配給主要兵器ハ省略ス

砲 隊	兵 舎 地 區 隊	東 部 支 隊			沙 涇 港 地 區 隊
		左 翼 隊	中 央 隊	右 翼 隊	
福 崎 少 佐	司令部大隊長 柳原少佐	吳鎮第一特陸司令 安田中佐			第三水雷戰隊 陸戰隊指揮官 菅井少佐
		第八大隊長 (橫鎮第一特陸司令兼大隊長) 竹下少佐	第七大隊長 (吳鎮第一特陸大隊長) 樋口少佐	第五大隊長 (佐鎮第一特陸司令兼大隊長) 柴北少佐	
第三中隊基地部隊	陸戰隊司令部(司令部大隊ノ大部ヲ缺ク) 戰車隊・通信隊・運輸隊・工作隊・醫務 隊及主計隊ノ殘部、第三水雷戰隊陸戰隊 第三中隊基地部隊	漢口部隊、第三水雷戰隊陸戰隊(三箇中 隊缺)、乘用車二、貨物車六、「サイドカ ー」一			七四二
		司令部大隊(傳令部隊派遣電話隊缺)、高 射砲中隊、乘用車一	第八大隊(橫鎮第一特陸)、第十一戰隊陸 戰隊、乘用車一、貨物車四	第七大隊(吳鎮第一特陸)、裝甲車一、乘 用車三、貨物車七、「サイドカー」三	
戰車隊 八九式中戰車 加式輕戰車 裝甲車					二二一

豫備隊

第九大隊長 岡 少佐	第九大隊、乗用車一、貨物車四、「サイドカー」一	機銃車 運輸車 乗用車 貨物車	二 一〇 三〇
第十大隊長 土師 少佐	第十大隊、乗用車一、貨物車四、「サイドカー」一	特令ニ依リ東部支隊長、指揮下ニ入ル	

別表第二

陸戦隊大隊稱號

新大隊及中隊名	舊大隊名	部	隊
第一大隊 第一中隊	同	固有上海特別陸戦隊	銃隊
第二大隊 第二中隊	同	同 右	同 右
第三大隊 第三中隊	同	同 右	同 右
第四大隊 第四中隊	同	同 右	同 右
第五大隊 第五中隊	同	同 右	同 右
第六大隊 第六中隊	同	同 右	同 右
第七大隊 第七中隊	同	同 右	同 右
第八大隊 第八中隊	同	同 右	同 右
第九大隊 第九中隊	同	同 右	同 右
第十大隊 第十中隊	同	同 右	同 右
第十一大隊 第十一中隊	同	同 右	同 右
第十二大隊 第十二中隊	同	同 右	同 右

第二章 八月十八日より八月下旬ニ至ル上海作戦

旅順

第六大隊	第十三中隊	同	上	吳鎮守府第二特別陸戰隊 (馬場)
第七大隊	第十五中隊	安田部隊		吳鎮守府第一特別陸戰隊
第八大隊	第十七中隊	竹下部隊		横須賀鎮守府第一特別陸戰隊
第九大隊	第十九中隊	月岡部隊		佐世保鎮守府第二特別陸戰隊 (增加部隊)
第十大隊	第二十二中隊	土師部隊		吳・佐世保鎮守府混成特別陸戰隊
漢口中隊		漢口部隊		銃隊・砲隊・特務隊
基地部隊		同	上	
出雲陸戰隊		同	上	
第十六驅逐隊陸戰隊		同	上	
第十一戰隊陸戰隊		同	上	
第一水雷戰隊陸戰隊		第七大隊		
第三水雷戰隊陸戰隊		第九大隊		
第八戰隊陸戰隊		第八大隊		

八月二十日
月岡大隊ノ
奮戦

月岡第九大隊ハ上陸早々塘山路線ニ配置セラレタル處、偶敵ハ攻撃主點ヲ同方面ニ指向セルモノノ如ク、二十日午後三時三十分頃優勢ナル敵ハ戰車及爆撃機ト協力シ

八月二十一
日ノ戦況

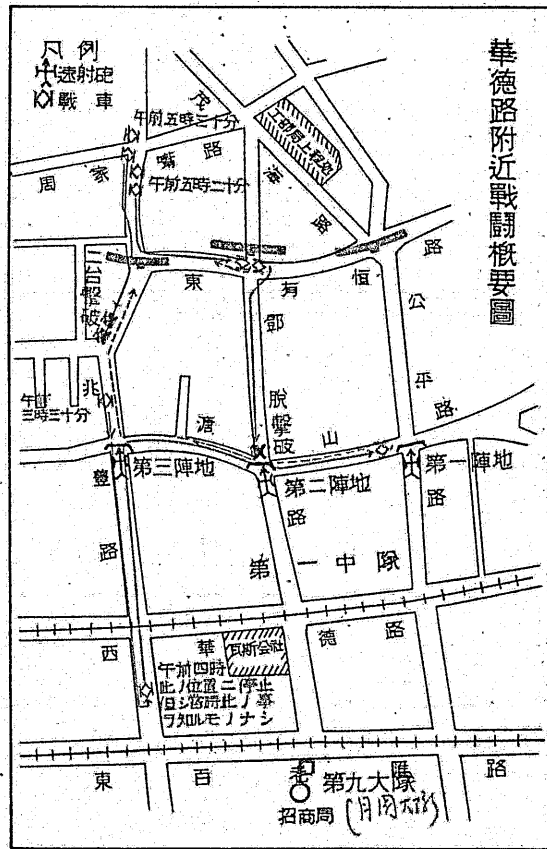
テ猛烈ニ攻撃シ來リ、我が前線ハ相當ノ苦戦ナリシガ、戦車装甲車速射砲等ノ増援ヲ得、奮闘六時間ニシテ之ヲ撃退セリ。
二十一日午前一時三十分頃敵ハ再ビ大部隊ヲ以テ東部地區ニ來襲シ、其ノ勢侮ルベカラザルモノアリシガ、我が猛烈ナル反撃ニ耐へ得ズ、午前六時頃退却シ、戦線一先ヅ平穩ト爲レリ。

其ノ他ノ戦線ニ於テモ敵ハ執拗ナル攻撃ヲ續ケ、特ニ前夜來我が警備地區各所ニ砲彈落下シ、之ガ爲ニ、¹²¹⁰三箇所ニ火災ヲ生ジタルモ、我が砲隊及銃隊ハ夫々機宜反撃シ敵ノ攻勢ヲ挫キタリ。午後十一時頃ヨリ中部第二地區ニ於テ敵ハ銃砲火ヲ以テ肉薄シ來リシモ、我が反撃ニ遭ヒ激戦十五分ニシテ潰走セリ。

八月二十二
日ノ戦況

二十二日午前二時三十分ヨリ月岡大隊陣地正面ニ敵大部隊ノ來襲アリ。即チ午前三時三十分頃敵戦車一臺ハ月岡大隊第三陣地ヲ突破シ續イテ六回迄敵ノ突撃隊我が陣地ニ迫リシモ、我が方之ヲ殲滅セリ。尙同戦車ハ兆豊路東百老匯路交叉點迄突入シ來リ、茲ニ於テ反轉午前四時不敵ニモ兆豊路ヲ北進シテ我が第三陣地ヲ後方ヨリ突破シ、更ニ塘山路ヲ東進シテ第一陣地近傍迄行キテ反轉シ、再ビ兆豊路ニ出デ其ヨリ北方ニ遁走セリ。又午前三時頃第一陣地ニ對シ敵約一箇中隊ハ喇叭ヲ吹奏シ

華德路附近戦闘概要圖



竹下部隊土師部隊ト守備ヲ交代ス

我が方ハ敵戦車三臺ヲ撃破シ一臺ヲ鹵獲セリ。

二十二日午前八時竹下第八大隊ハ土師第十大隊ト守備ヲ交代シ、機密第三艦隊命令第九三號ニ依リ特別任務註ニ就キ、爾後同陣地ハ土師大隊ノ守備スル所ト爲リ、同隊ハ連戦克ク闘ヒ同日全線華德路線迄進出セルモ、敵ノ攻撃亦猛烈ニシテ苦戦ヲ免レザリキ。同日午後十一時東部支隊全線ニ互リテ敵大部隊ノ來襲アリ、東部支隊ハ全力ヲ擧ゲテ之ヲ反撃セリ。尙同夜ハ各戦線共相當ノ交戦ヲ見タリ。

ツツ突撃シ來ルコト二回ニ及ビタルモ、我が猛烈ナル射撃及突撃ニ依リ數十ノ死體ヲ遺棄シテ潰走セリ。此ノ頃當方面各陣地共敵ノ攻撃最高潮ニ達シ、戦闘激烈ヲ極メタルガ黎明ト共三敵ノ攻撃漸ク衰へ、午前九時三十分頃ニ至リ月岡大隊各陣地前方ノ敵ハ全ク沈黙セリ。此ノ戦闘ニ於テ

註、八月二十三日午前三時吳淞鎮南方ニ強行上陸シ第三師團先遣部隊ノ上陸ヲ掩護スルノ任務
浦東方面ノ敵ハ連日斷續的ニ我ガ艦船及租界ニ對シ不規ナル攻撃ヲ加ヘツツアリ
シガ我ハ其ノ都度砲爆撃ヲ以テ之ヲ擊退シタリ。

第二章

八月十八日ヨリ八月下旬ニ至ル上海作戦

七四七



突撃ノ機ヲ窺フ我ガ陸戦隊
昭和十二年八月二十日上海「ブロードウェイ」附近



昭和十二年八月二十一日夜半ヨリ翌二十二日未明ニ互リテノ上海公平路附近ノ戦鬪ニ於テ陸戦隊安田隊ハ我ガ第一線陣地ニ襲ヒ來レル敵戦車三臺ト激戦ヲ交ヘ、遂ニ之ヲ擱坐セシム。寫眞ハ陸戦隊員ノ手ニ依リ我方陣地ニ曳行サルル敵戦車。

敵 戦 車 セ ル 獲 鹵

八月二十三
日ノ戦闘

第二目

東部租界確保作戰自八月二十三
日 圖第五四頁ノ一
至八月三十日 圖第二十四參照

八月二十三日午前零時十五分頃ヨリ北部地區左翼ニ於ケル交戦激烈ヲ極メ、三時間ニ互リ優勢ナル敵ハ猛攻ヲ反復セシモ、我ハ之ヲ反撃シ多大ノ損害ヲ與ヘテ潰走セシメタリ。

八月二十三
日ノ陸戰隊
命令

東部地區ニ於テハ土師第十大隊正面ノ敵ハ頑強ニ攻撃ヲ繼續シ、華盛路華德路交叉點ノ陣地ハ敵ノ爲突破セラレシモ、同隊ハ韜明路匯山路線ヲ確保シ攻勢移轉ヲ企圖セリ。

同日午前九時上海海軍特別陸戰隊司令官ハ我ガ陸軍先遣部隊ノ吳淞及川沙口方面ノ上陸ニ策應センガ爲、次ノ如ク陸戰隊命令ヲ下令セリ。

機密上陸軍命令第二六號

- 一 我カ全戰線終夜ニ互ル數次ノ敵逆襲部隊ハ擊攘セラレ三、四百米以上ヲ間シテ對峙セルモ昨朝及今朝ノ甚大ナル損害ノ爲士氣沮喪シ一部兵力ハ逐次北方及西方ニ移動シアリ
- 確實ナル情報捕虜及遺棄セル中隊長死體内ノ兵力配備圖ニ依レバ北部

支隊八字橋地區隊ノ正面ノ敵ハ第二師、西部楊樹浦正面ニハ第三十六師在リテ後者ノ約一萬ハ同地ニ現在スル者數千ニ減殺セラレタリ

(二) 我ガ航空機(水上機及艦上機)及艦艇ハ依然當方面ノ戦闘ニ協力シテ

(三) 我ガ師團ハ今朝〇三〇〇頃吳淞其ノ他ノ方面ニ揚陸ヲ完了セリ

二 陸戦隊ハ全軍攻勢ニ轉スルノ準備ヲナスト共ニ友軍上陸作戦並ニ爾後ノ作戦ニ協同シ極力攻撃動作ヲ熾烈ニシ火力ヲ以テ敵兵力ノ移動ヲ遮斷シ上海附近ノ敵大部ヲ我カ正面ニ牽制シ且ツ甲航空基地公地大ノ使用ヲ計ル爲該方面ノ戦線ヲ速ニ進展セントス

三 (一) 東部支隊長ハ速ニ中央隊ヲ以テ華德路ノ線ニ進出、同線ヲ確保スルト共ニ大部ヲ以テ當面ノ敵ヲ牽制シ、且ツ甲航空基地使用ニ便スル爲右翼ノ前線ヲ進展セシムヘシ

(二) 爾餘ノ諸隊ハ陸戦隊ノ決心ニ即應スル如ク爾後ノ準備ヲ進ムヘシ

特ニ前方敵兵ノ移動ヲ觀破スル爲屋上見張ヲ嚴重ニスル外極力陣前廣正面ノ搜索偵察ヲ行ヒ諸徵候ヲ速ニ報告スヘシ

租界確保ヲ
完成ス

二十四日午前十時月岡第九大隊ハ進出ヲ開始シ、戰車隊、砲隊、漢口部隊第六大隊ノ一
箇小隊陸戰隊本部及東部支隊ノ豫備隊竝ニ出雲陸戰隊ノ一部夫々之ニ協力シ、午後
零時十五分塘山路線ヨリ歐嘉路線ニ進出ヲ完了セリ。

同日東部支隊ハ甲基地公地大確保ノ爲攻撃ニ轉ジ戰線稍進出シ、又主力部隊及北部支
隊ハ夫々戰線ヲ推進シテ敵ヲ租界外ニ驅逐シ、租界確保ヲ完成セリ。

上海海軍特
別陸戰隊軍
隊區分一部
改正

同日午後四時上海海軍特別陸戰隊司令官ハ機密上陸軍命令第二七號ヲ以テ陸戰隊
命令ヲ下令シ、昨二十三日揚陸ニ成功セル陸軍先遣部隊ノ作戰ニ策應スルト共ニ軍
隊區分ノ一部ヲ左表ノ如ク改メタリ。

機密上陸軍命令第二七號別表

軍隊區分一部改正

東部支隊		指揮官	兵力(主力)	記事
右翼隊	左翼隊			
上海		吳鎮第一特陸	佐鎮第一特陸 山砲四門 第十六驅逐隊陸戰隊	
第一鎮司令部				
第七大隊長		吳鎮第一特陸		
第五大隊長				

第二章 八月十八日ヨリ八月下旬ニ至ル上海作戰

相互連繫スルニ至リ、更ニ楊樹浦支隊亦同地區ニ敵影ヲ見ザルニ至リ同日夕刻略租界線迄進出セリ。

陸軍先遣部隊ノ揚陸成功スルヤ、二十五日以來敵ハ我ガ陸戰隊正面ニ對シテハ北部戰線ニ於テ稍活潑ナル夜襲ヲ反復セルノミニシテ一般ニ積極的攻勢ニ出デズ、一部ハ後方ニ、一部ハ陸軍正面ニ移動セリ。

特陸後續部
隊及補充員
到著
公大基地整
備

二十九日午前九時佐世保鎮守府第四特別陸戰隊ノ一部及各特別陸戰隊補充員來著、翌三十日午前九時佐世保鎮守府第四特別陸戰隊殘部到著シ、同隊ハ東部支隊長ノ指揮下ニ入レリ。又三十一日ヨリ第一警戒隊基地員ハ公大基地ニ來著シ其ノ整備ニ當レリ。

第三項 航空部隊ノ作戰

八月十八日以後同月中ニ於ケル海軍航空作戰ノ概況左ノ如シ。地點ハ四一六頁ノ一附圖第十參照

十八日 上海附近敵航空基地攻撃及陸戰協力。

十九日 前日ニ同ジ。

尙第三空襲部隊ハ午後南京ヲ空襲シ、軍官學校、兵器廠、火藥廠、國民政府參謀本部等ニ二百五十珣爆彈ヲ投下シ、計三十餘箇ヲ命中セシメ各所ニ火災ヲ生ゼシメタリ。

二十日 上海附近敵航空基地攻撃及陸戰協力並ニ江南造船所ヲ爆撃セル外、第三空襲部隊鹿屋隊ハ漢口空襲ニ向ヒシモ目標ヲ發見シ得ズ歸途九江ヲ爆撃セリ。又第二空襲部隊ハ廣德ヲ空襲シテ格納庫ヲ破壊シ、空中戰ニ於テ敵機四機ヲ擊墜セリ。

二十一日 上海附近敵航空基地攻撃及陸戰協力前日ト大差ナシ。
尙第三空襲部隊木更津隊十五機ハ揚州及徐州ヲ爆撃シ、敵機十餘機及施設ニ損害ヲ與ヘタルガ、我亦四機ヲ失ヘリ。同鹿屋隊ハ孝感及九江

飛行場ヲ爆撃セリ。

二十二日 陸戦協力竝ニ敵航空基地ノ爆撃ヲ續行シ、又空中戦ニ依リ敵機多數ヲ撃墜セリ。尙第三空襲部隊ハ最初ノ南京夜間爆撃ヲ敢行セリ。

二十三日 川沙口及吳淞鎮附近ニ於ケル陸軍上陸作戦ニ協力セリ。

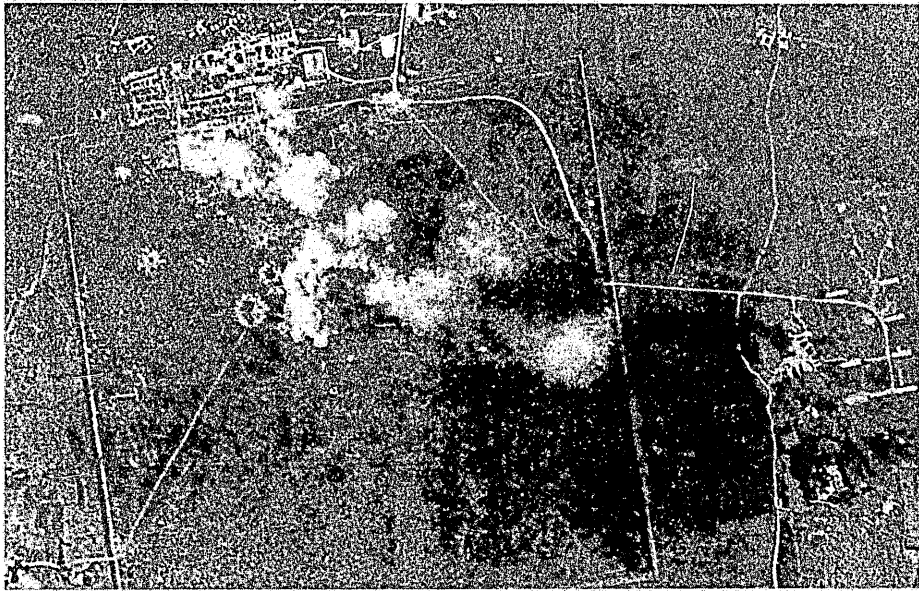
二十四日 陸戦協力ノ外、第三空襲部隊木更津隊ハ未明及夜間ノ兩度ニ互リ南京飛行場ヲ空襲セリ。同鹿屋隊ハ安慶及寧波飛行場ヲ攻撃セリ。

二十五日 陸戦協力ノ外、第一空襲部隊鳳翔艦上戦闘機三機ハ吳淞上空ニ於テ多數ノ敵爆撃機及戦闘機ト空中戦ヲ交ヘ、敵「マーチン」型三機ヲ撃墜セリ。尙第二十三航空隊ノ水上偵察機ハ江南造船所ヲ攻撃シテ二千噸級敵艦一隻ヲ撃破シ、附近ノ建物ヲ大破セリ。

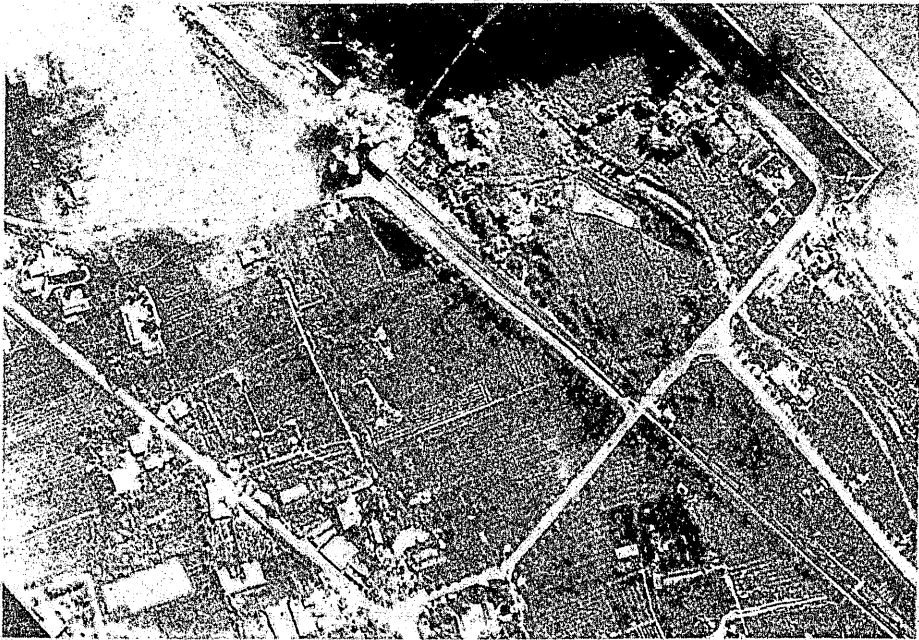
二十六日 陸戦協力ノ外、第三空襲部隊鹿屋隊ハ南昌ニ對シ黎明空襲ヲ行ヘリ。

二十七日 陸戦協力ノ外、第三空襲部隊ハ南京ニ對シ夜間空襲ヲ行ヘリ。

二十八日 第一空襲部隊ハ陸戦ニ協力シ、午前午後ニ互リ羅店鎮、吳淞鎮江岸其ノ他ノ敵陣地ニ有效ナル爆撃ヲ加ヘタルガ、本攻撃中龍驤機一機ヲ失ヘリ。又第二空襲部隊ノ攻撃機ハ戦闘機掩護ノ下ニ崑山鐵橋其ノ他敵



第二航空戦隊 = 依ル廣徳敵飛行場爆撃



第二航空戦隊 = 依ル吳淞附近敵陣地爆撃
昭和十二年八月三十一日



公 大 飛 行 基 地

後方ノ交通要點ヲ爆撃セリ

二十九日

第一空襲部隊ハ一部ヲ以テ松江鐵橋及笥橋飛行場ヲ爆撃シ、他ノ一部ヲ以テ揚陸點上空附近警戒ニ任ジ、又第二空襲部隊ハ寶山城及吳淞砲臺等ヲ爆撃シテ陸戰ニ協力シ、尙廣德飛行場ヲ爆撃シ、兵舎工場ガソリン庫等ヲ爆破災上セシメタリ。本攻撃中我亦爆撃機一機ヲ失ヘリ。

三十日

陸軍正面作戰進展セザル爲、殆ド全力ヲ舉ゲ右作戰ニ協力ス。敵機數次吳淞輸送船隊附近及泗礁山根據地ヲ空襲セルモ我之ヲ反撃シ、敵ホ一機ヲ撃墜セリ。

敵機米國商船ヲ爆撃シ死傷數名ヲ出セリ。

尙第三空襲部隊木更津隊ハ徐州ヲ攻撃セリ。

三十一日

第三空襲部隊ノ長驅廣東方面ヲ爆撃セル外、他ノ空襲部隊ハ全力ヲ舉ゲテ敵戰線後方ノ攪亂ト敵陣地及密集部隊ヲ爆撃シ陸戰ニ協力セリ。

第四項 支那空軍ノ行動

支那空軍ノ上海方面ニ於ケル行動ハ八月十四日我ニ先制空襲ヲ加ヘタルニ始マリ、爾後概ネ毎日戰闘機爆撃機ヲ合ハセ十數機我ガ江上艦船陸戰隊本部陸戰隊陣地及租界ニ攻撃ヲ繼續セシガ我ニ大ナル被害ナク、十八日夜間來襲セル敵機ハ燒夷彈攻撃ヲ行ヒ、其ノ一彈ハ租界内ニ落下シ火災ヲ起シタルモ大事ニ至ラザリキ。

斯クテ連日上海上空ニ來襲セシ敵機ハ十九日ハ上海方面ニハ現ハレズシテ馬鞍群島泊地ニ來襲セリ。同日第一水雷戰隊有明ハ九段八八〇頁ノ一參照附近ニテ哨戒中、爆撃ヲ被リ水面爆發ノ破片ニ依リ負傷者數名ヲ出セリ。

然レドモ屢次ノ我ガ航空部隊ノ敵基地爆撃及我ガ上空警戒機ノ反撃竝ニ防空防火ノ整備等ニ依リ、八月二十四日以後敵ノ攻撃ハ著シク緩慢ト爲リ、而モ其ノ爆撃ハ機影モ發見シ得ザル高高度爆撃ニシテ概ネ盲爆ニ近ク、僅ニ浦東側ニ落下スルノ情況ナリキ。

昭和十二年八月中ニ於ケル支那空軍上海附近空襲概況次葉附表第四ノ如シ。

附表第四

昭和十二年八月中支那空軍上海附近空襲概要一覽表

月日	時刻	來襲敵機種及數	來襲箇所	我ガ被害	擊墜敵機數
八、一四	晝間 約六回	戰闘機及爆撃機 約四十機	出雲 第十一戰隊 第一水雷戰隊 第八戰隊 陸戰隊本部	ナシ 但シ出雲ヲ狙ヒシ爆彈南京路「カセイホテル」ニ命中、第三國人及支那人多數死傷ス又第八戰隊ヲ狙ヒシ爆彈英艦「カンブランド」近ク落下	空戰 戰闘機 一 爆撃機 一 射撃機 一
八、一五	晝間 約六回	戰闘機・爆撃機・偵察機 約二十機	出雲 第十一戰隊 第一水雷戰隊 陸戰隊本部	ナシ 出雲附近防空砲臺ニ命中、戰死四、負傷六 陸戰隊病舎附近租界内ニ命中	射撃機 一 偵察機 一
八、一六	晝間 約六回	戰闘機・爆撃機・偵察機 約二十五機	出雲 第十一戰隊 第一水雷戰隊 陸戰隊本部	ナシ	射撃機 一 爆撃機 一 戰闘機 一
八、一七	晝間 約六回	戰闘機・爆撃機 約四十機	陸軍 第一水雷戰隊 海軍 第一水雷戰隊 陸軍 第一水雷戰隊 海軍 第一水雷戰隊	ナシ	空戰 戰闘機 二 射撃機 四
八、一八	晝間 約六回	戰闘機・爆撃機 約十四機	馬鞍群島泊地 通三州水雷戰隊	ナシ	空戰 爆撃機 一
八、一九	晝間 約六回	爆撃機 一機 爆撃機 三機 爆撃機 七機	有明(九段) 余山附近 神威(吳淞沖) 陸戰隊本部	ナシ 有明至近距離ニ落下セル爆彈ニ依リ負傷七名	空戰 爆撃機 一
八、二〇	晝間 約五回	戰闘機・爆撃機 約二十五機	出雲 第十一戰隊 第三水雷戰隊	公平路陣地ニ落下セル爆彈ニ依リ負傷數名	空戰 爆撃機 一
八、二一	晝間 約三回	戰闘機・爆撃機 約十二機	虹口地 第三水雷戰隊	數彈虹口ニ落下、邦人二十數名死傷、居留民動搖ノ色アリ	空戰 戰闘機 一 爆撃機 二 當ノ損害ヲ與フ
八、二二	晝間 約三回	戰闘機・爆撃機 約八機	大康 出雲	ナシ	空戰 戰闘機 一 爆撃機 六 當ノ損害ヲ與フ
八、二三	晝間 約三回	戰闘機・爆撃機 約八機	馬鞍群島泊地 出雲	南京路先施公司ニ爆彈投下、數百名ノ死傷者ヲ出ス	空戰 戰闘機 一 當ノ損害ヲ與フ
八、二四	晝間 約三回	不明	川沙口附近 川沙口附近	海風附近ニ爆彈落下、破片ニ依リ負傷一	空戰 戰闘機 一
八、二五	晝間 約三回	戰闘機・爆撃機 約二十機	川沙口附近 陣地 八重山(通州水道) 鳳翔(馬鞍群島)	ナシ	空戰 戰闘機 一 爆撃機 一 射撃機 一 當ノ損害ヲ與フ
八、二六	晝間 約三回	不明	川沙口附近 陸軍 第一水雷戰隊	ナシ	空戰 戰闘機 一
八、二七	晝間 約三回	不明	馬鞍群島泊地 酒礁山飛行基地	ナシ	空戰 戰闘機 一
八、二八	晝間 約三回	不明	馬鞍群島泊地 酒礁山飛行基地	ナシ	空戰 戰闘機 一
八、二九	晝間 約三回	不明	馬鞍群島泊地 酒礁山飛行基地	ナシ	空戰 戰闘機 一
八、三〇	晝間 約三回	不明	馬鞍群島泊地 酒礁山飛行基地	ナシ	空戰 戰闘機 一
八、三一	晝間 約三回	不明	馬鞍群島泊地 酒礁山飛行基地	ナシ	空戰 戰闘機 一